

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

社会の形式を理解するにはまず、ゲオルク・ジンメルが社会をどのようなものと考えていたかを知っておかねばならない。普通の常識によれば、人間は初めに個人として存在し、その個人が集まって社会をつくったと思われがちだが、彼はもちろんそんな素朴な考えかたはしない。歴史の事実としても、個人が社会なしに孤独に存在した段階があるわけではないし、それよりも原理的に、A個人が社会に先行する確実な存在だと考えるのが誤りなのである。社会を分割して基礎になる単位を探すにしても、個人は必ずしもそれ以上に分割できない最小の単位ではない。分割できないのは個人の肉体だけであって、彼の多様な精神的、心理的な側面はもちろん、彼の身分や役割や能力、社会的な機能はいくつにも分けられるからである。

しかし一方、逆に社会が初めにあって、個人がそれによって後から生みだされたと考えるのも正確ではない。どんなに集団的な社会にもすでに集団主義的な個人がいたし、没個人的というものも、個人相互の一つの関わりかたの名前にはかならないからである。抽象的な社会一般というものは存在せず、存在するのはそれぞれ具体的なありかたを持った社会であるが、社会のありかたとは結局、その中の個人どうしの関係と同義語である。村が先にあると村民が生まれたわけでもなく、まず国家があつて国民を生んだわけでもない。村があるとはすなわち、個人が村民らしく伝統の絆で結ばれていることであり、国家があるとはすでに国民がいて、法と制度と契約で関わりあっていることなのである。

実を言えば、こういう①ジンカンが起こるのは、ものごとをすべて実体的にとらえる考えかたが誤っているからである。個人が先か社会が先か、鶏と卵のようにどちらが根源かを尋ねることが、そもそも誤っていたといえる。ジンメルによればむしろ根源は、最初から関係の中にある個人であり、本来的に相互作用をする個人であり、もつと言うなら個人のあいだの相互作用そのものだという。それを彼は「社会化作用」と呼ぶのだが、この目に見えない作用が根源にあつて、それが多様な個人と社会単位をいわば同時に生むのである。たとえば大衆と大衆社会のどちらが先かを問うのは②オロカであつて、まず大衆化という複雑な社会化作用が発生し、それが実体的な大衆社会と大衆的な個人を③イツキヨに生み出したというのである。

最初に実体があるのではなく、まず作用があつてそれが実体を生むという考えかたは、あるいはすぐには飲みこみにくいかもしれない。だが現に生物の生命などについては、人びとは常識でもこのような考えかたをしているのではないだろうか。細胞が先かゲノムが先か、あるいは臓器が先か個体が先かと、二者択一的に考える人はあまりいない。まず始めには生命という作用そのものがあつて、それが複雑な段階ごとに生命体の部分と全体を一度に生んでいると解釈するのが、むしろ普通だろう。作用は実体と違って目に見えないが、目に見えないといえ、すべての物質をあたづくくっているエネルギーも見ることのないものだろう。

さてその上で、ジンメルはこのB社会化作用に内容と形式の二側面があると主張する。そのさい内容とは、人間の相互作用の動機となり目的となるものであつて、具体的にはさまざまな欲望や本能的な衝動をさしている。性的な本能や物質的利益への欲望、さらには宗教的な衝動をも含めて、すべて生命活動の目的を定め、そのために人が社会をつくる動機となるものである。これに対して形式とは、こうした内容が引き起こす相互作用のかたちであり、協力、依存、対抗というようなさまざまな現れを見せる。現実の社会化作用はこの内容と形式の結合によって生じ、両者の組み合わせによって多様な社会活動が出現する。たとえば物質的な欲望が協力という形式をとれば企業が生まれ、同じ内容が対抗という形式をおびれば市場が発生するのである。

実を言うと、この内容と形式の概念は哲学的に見てやや素朴なのであるが、それについての批判は後に送ることにしよう。ジンメルはここから踏みこんでいよいよ自説の核心に迫るのであって、その中には真に④ケイチョウすべき点と問題点とが混在している。というのは、ジンメルは彼のいうC社会化作用の形式が内容から独立して、それが単独で現実の中に現れることがあると考えている。一般に生命の組織活動はときに本来の目的を離れ、活動の形式そのものを目的として働くことがあるというのである。人間の具体的な仕事について言えば、何のために働くかがまったく度外視されて、働きたたそのものが自己目的になることがあるというわけである。

ジンメルはそんな特殊な活動の例として、純粋な学問と芸術の営みをとりあげて説明を試みる。もともと人間が何かを知るのには生きるためであり、行動の⑤シンシを定めるという目的のための方法であった。だがそういう認識が深まり複雑に展開すると、やがて認識それ自体を誤りなく導くことが自己目的になる。認識の結果がどんな役に立つかということよりも、認識の内部の論理的な整合性、ことがらを整理する方法の一貫性のほうが重視されるようになる。実は認識がそこまで深まったものが学問なのであって、学問とは知るといふ活動が内容を失い、その形式だけが独立した姿だと見ることができ、知ることが世俗的な効用性を忘れ、いわば認識のための認識を目指し始めた時に、学問が成立するのである。

芸術の場合もまったく同じであって、ジンメルにとってむしろ説明はこちらのほうが容易かも知れない。たとえば絵画は何らかの対象を表していて、一見、それを表し伝えることが絵画の目的であるように見える。だが誰もが知るように、芸術的な絵画は看板絵とは違うのであって、その違いは芸術がただ対象を表す以上のことをしている点にある。それは対象を表すことをいわば口実にして、むしろ純粋な色と形、その調和と対照、全体の構図や細部の筆遣いを前面に押しだしている。対象を示すことが描くことの内容だというなら、ここではそれよりも描きかたの方法が重視されている。描きかたとは形式のことであるとすれば、芸術はまさに内容と形式の意味を逆転し、形式を独立させた時に誕生するようにも見える。

こうした形式の内容からの独立は、ジンメルによれば生命のさまざまな活動の中で起こりうるものであり、それがほかならぬ社会化作用の中で生じた姿が社交なのである。言い換えれば、人が集まる活動の内容が先に見たようにさまざまな欲望や衝動だとすれば、そういうものなしに人がただ集まるために集まった姿が社交である。そこでは人は性欲や物欲や宗教的渴望を棚上げにして、ただ協力のための協力、依存のための依存、対抗のための対抗を目指して人と結ばれる。何のために集まるかが度外視され、どんなかたちで集まるかだけが問題になるのであるから、ここでは社会化の形式が自己目的になったと、ジンメルは考える。

(山崎正和著『社交する人間』による)

【注】

・ゲオルク・ジンメル——ドイツ出身の社会学者、哲学者。

問一 傍線部①～⑤のカタカナの部分に漢字に改めなさい。(解答は楷書ではっきり書くこと。)

問二 傍線部A「個人が社会に先行する確実な存在だと考えるのが誤りなのである」とは、どういうことか。
八〇字以内でわかりやすく説明しなさい。(句読点なども一字と数える。)

問三 傍線部B「社会化作用に内容と形式の二側面がある」とあるが、この二側面について、五〇字以内で説明しなさい。(句読点なども一字と数える。)

問四 傍線部C「社会化作用の形式が内容から独立して、それが単独で現実の中に現れることがある」とは、どういうことか。学問と芸術を例に、八〇字以内で説明しなさい。(句読点なども一字と数える。)

問五 筆者の考える「社交」について、あなたの意見や考えを二〇〇字以内で述べなさい。(句読点なども一字と数える。)

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

問五

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

問四

| |
|------|
| 受験番号 |
| |
| 氏名 |
| |